

付録-6 詳細調査報告書様式

—目次—

	ページ
板厚調査.....	1
亀裂調査.....	2

点検表（板厚調査結果記録票）

点検年月日

種別	管理者	管理番号
■ 板厚調査結果		整理番号

調査部位					測定厚			管理 板厚	限界 板厚	損傷程度 の評価
部材	調査箇所	記号	測定位置	番号	1 回目	2 回目	最少厚			
支 柱	支柱本体	Pph	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	電気設備用開口部	Phh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
			左	5						
			右	6						
	柱・ベースプレート溶接部	Pbp	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	路面境界部 (GL-40)	Pgl-40	0°	1						
			90°	2						
180°			3							
270°			4							
柱・基礎境界部	Ppb	0°	1							
		90°	2							
		180°	3							
		270°	4							
横 梁	横梁本体	Cbh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	横梁・ベースプレート溶接部	Cbh	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						
	横梁仕口溶接部	Cbw	0°	1						
			90°	2						
			180°	3						
			270°	4						

※ 測定位置については、円周方向4箇所以上とし、腐食状況等の応じて測定箇所を増やすなど適切に状態を把握できるよう考慮すること。

※ 標準的な測定位置については、附属物（標識、照明施設等）の点検要領（案）（平成22年12月 国土交通省道路局）付録-3を参照。

鋼部材亀裂調査（調査位置図）

建植番号		路線名		行政区		ID	
管理番号		緊急交通路		工営所		点検年月日	
支柱形式		板取付形式		表面処理形式		建設年	

調査部位		備考	
調査位置図（※1）			
	その他		

※1 詳細図が無い場合は、溶接線の位置が分かるようにスケッチする。

鋼部材亀裂調査

建植番号		路線名		行政区		ID	
管理番号		緊急交通路		工営所		点検年月日	
支柱形式		板取付形式		表面処理形式		建設年	

調査径間		橋脚番号						
調査結果	損傷図（※1）	調査結果					備考	
		検査	結果					
			①	②	③	④		⑤
		検目						
		塗膜われ・亀裂						
		局所錆						
渦流探傷試験（有・無）								
磁粉探傷試験（mm）								
探傷試験スケッチ図								
判定※3（亀裂の有無）								
その他								

※1 亀裂は、大きさと先端を図示する。

※2 塗膜を除去した場合は、部分補修（塗替）を実施する。

※3 亀裂の有無を記載すること。